

簡易型電気分解装置の正しい使い方

実験中の注意

■ 実験前

- ・安全めがね、白衣等を着用する。
- ・近くに**火気がない**ことを確認する。

■ 装置の準備

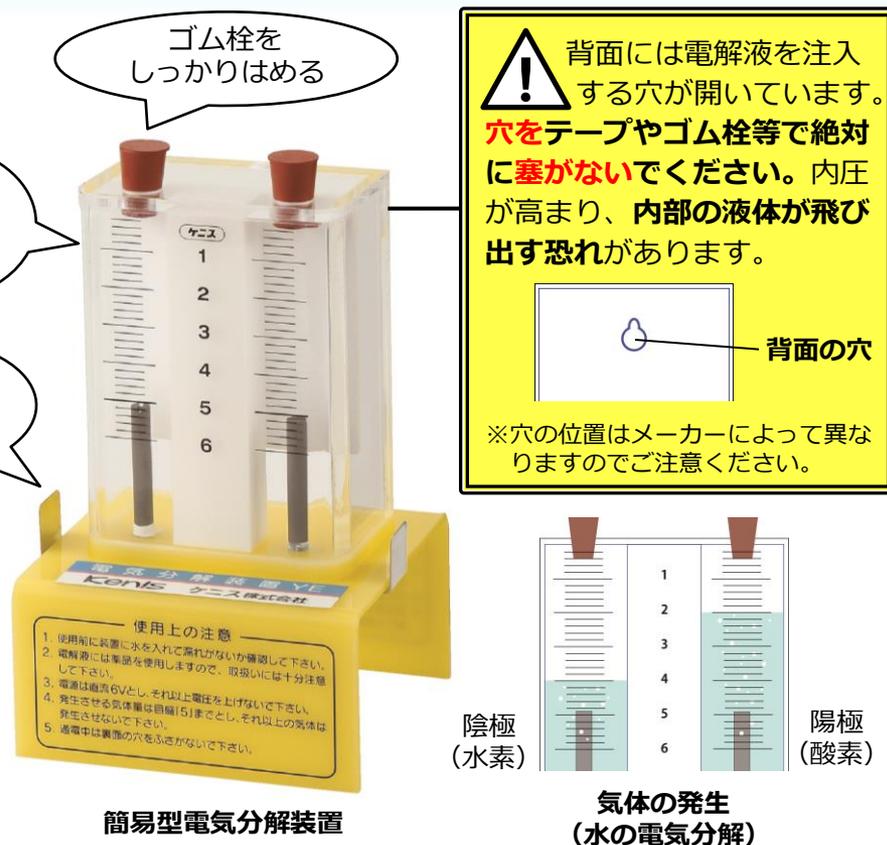
- ・ゴム栓を確実に本体にはめ込む。

■ 電気分解

- ・使用する電源は約**6V**とし、それ以上電圧をあげない。
→ 気体の急激な発生や、感電する恐れがあります。
- ・電源は使用する直前に入れ、電源使用中は**電源の出力端子、電源プラグ、電極部に触れない**。
→ 感電する恐れがあります。
- ・実験中に**通電方向を変えない**。
→ 爆発する恐れがあります。
- ・発生させる気体は、装置の容量の**2/3以上貯めない**。
→ 爆発する恐れがあります。

■ 発生した気体の確認

- ・必ず**電源を切っている**ことを確認する。
- ・装置に顔を近づけたり、上からのぞいたりしない。



保管方法

使用後はよく水洗いし、充分乾かしてから保管する。電解液等が残っていると腐蝕事故につながります。また、ゴム栓の劣化、金属の腐食の原因になります。



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>